



-発行-

荒井学園新川高等学校

〒937-0041

魚津市吉島1350

青龍団が総合・マスコットの二冠達成

6月13日(金)、今年もありそドームで全校生徒が集まり、令和7年度の体育祭が盛大に開催されました。大きな声援と笑顔に包まれ、熱気あふれる一日となりました。

本番に向けては、約1週間前から各団による活動がスタート。赤龍団、青龍団の2団が、3年生の団リーダーを中心に力を合わせて、競技練習やマスコット制作などを進めました。競技では、借り人競争、二人三脚、ムカデリレーなどの種目が行われ、どれも白熱した展開に。選手たちは全力で走り、応援席からは大きな拍手と声援が送られました。中でも、学年の枠を超えてチームで取り組む団体種目では、互いに励まし合いながら競技する姿が印象的でした。

熱戦の末、総合優勝は青龍団が勝ち取り、さらにマスコット賞も青龍団が受賞。団員たちは喜びを分かち合いながら、笑顔で表彰を受けました。全校生徒が力を合わせ、一丸となって作り上げた今年の体育祭。勝敗を超えて、仲間との絆や協力の大切さを改めて実感する、かけがえのない一日となりました。会場には最後まで笑い声が響き渡り、心に残る体育祭となりました。



N→未来塾 食品添加物を楽しく学ぶ!!

6月20日(金)、N→未来塾を行いました。今回は、能島香さんを講師にお招きしての食品添加物セミナー。およそ20名の生徒が参加しました。食品に含まれる添加物にどのようなものがあるのかや、私たちがどれくらい摂取しているなどをお話しいただきました。

また、実際に添加物を組み合わせて、調味料やお菓子、飲料水の匂いなどを作る実験も行われました。次々とできあがる嗅ぎなれた食料品の匂いに、生徒たちは興味津々。楽しみながら学んでいました。



STOPいじめ! ピンクシャツデー

6月17日(火)、本校では「ピンクシャツデー」の活動の一環として、生徒・教職員がピンクのリストバンドを着用し、いじめ反対の意思を示しました。

ピンクシャツデーとは、カナダでピンクのシャツを着て登校した男子生徒がいじめを受けたことをきっかけに、友人たちが連帯の気持ちを込めてピンクシャツを着たことから始まった、世界的ないじめ反対運動です。

本校ではリストバンドだけでなく、靴下やキーホルダーなど、さまざまな形でピンクを取り入れ、自分たちの思いを表現しました。校内にはやさしいピンク色があふれ、生徒たちの「いじめは絶対に許さない」という強い気持ちがひとつになつた一日となりました。





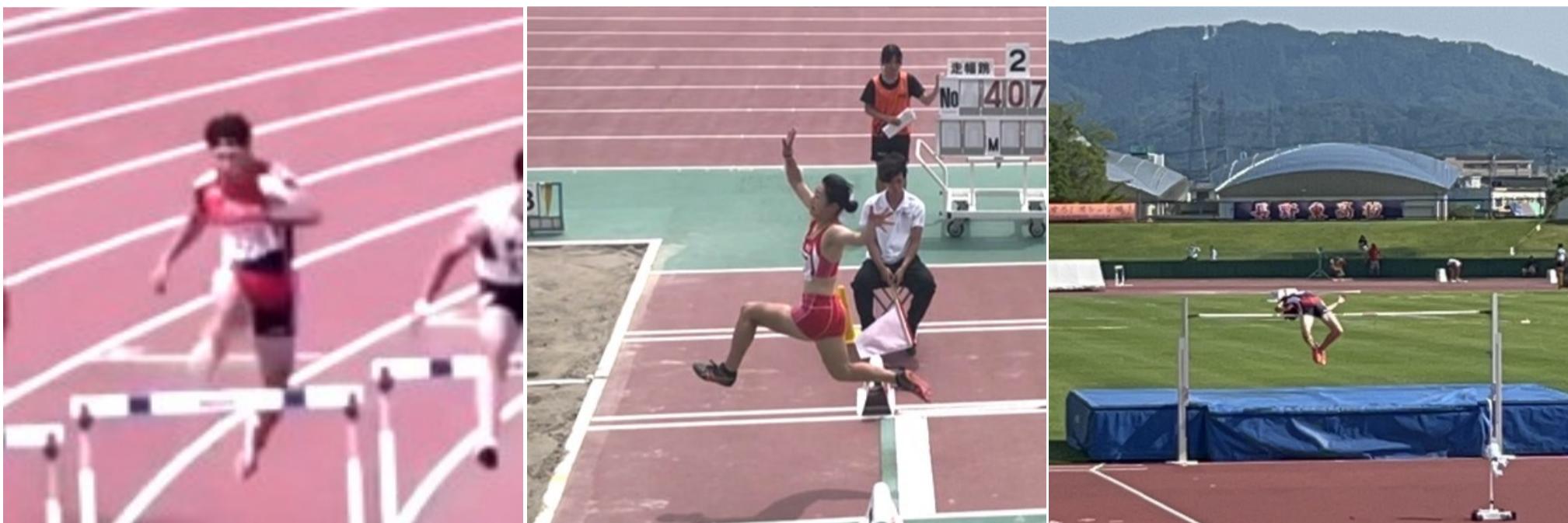
北信越高等学校陸上選手権 3年生3名が挑戦

6月19日(木)から22日(日)にかけて、福井県陸上競技場(9.98スタジアム)にて第64回北信越高等学校陸上競技対校選手権大会が開催されました。

本校からは3名の選手が出場。男子400mハードルには高瀬煌己さん(3年・魚津西部中)、女子七種競技には小松心奏さん(3年・上市中)、男子走高跳には上野彰太さん(3年・入善西中)がそれぞれ出場しました。

上野さんにとっては初めての北信越大会でしたが、緊張感のある中でも堂々とした跳躍を披露し、成長の手応えを感じさせる内容となりました。高瀬さんと小松さんは、それぞれ8位入賞という素晴らしい結果を残しましたが、惜しくも目標としていた全国大会(インターハイ)出場にはあと一步届きませんでした。

それでも、北信越の強豪選手が集う中で最後まで全力を尽くした3人の姿は、多くの人に感動を与えてくれました。今後のさらなる飛躍に期待が高まります。



経験を力に リベンジを誓う北信越大会



6月21日(土)・22日(日)、福井県越前市にあるアイシングスポーツアリーナにて、令和7年度北信越高等学校体育大会バドミントン競技が開催されました。

本校は、新潟県第4代表の日本文理高校と初戦で対戦。選手たちは粘り強くプレーし、それが持てる力を発揮しましたが、惜しくも北信越の初戦突破は叶いませんでした。

しかし、今回の大会で見つかった課題を一つひとつ乗り越え、次の大会ではより良い結果を残せるよう、これからも練習に励んでいきます。

攻めの姿勢を貫いて 北信越大会で健闘



6月21日(土)・22日(日)、新潟県糸魚川市民総合体育館にて令和7年度北信越高等学校空手道競技会が開催されました。

本校からは、男子個人組手に二正寺龍吾さん(2年・明峰中)が出場しました。初戦では果敢な攻めを見せ、接戦の末に8-7で見事勝利。迎えた2回戦では惜しくも0-3で敗れましたが、強豪相手にも臆せず立ち向かう姿が印象的でした。

この経験を糧に、さらなる成長と上位進出を目指して努力を続けていきます。